

開催 /

小諸新校 第一回ワークショップ・シンポジウム

新しい学びの場について、
設計者といっしょに考えてみませんか？



小諸高校と小諸商業高校が一体になり、新校として生まれ変わる小諸新校プロジェクトの第一回目ワークショップとして、「新しい学びの場について、設計者といっしょに考えてみませんか？」をシンポジウム形式で開催しました。プレゼンテーションや話題提供の途中からも質問や感想がなげかけられ、それが呼び水になって新たな話題が起こるという創造的な時間となりました。

まずこの小諸新校プロジェクトがその一環としてある「Nagano School Design (NSD)」とは何かについて、長野県教育委員会の石井さんからプレゼンテーションがありました。

小諸新校の設計チームとして選定された、西澤徹夫建築事務所 (N)、奥山尚史建築設計事務所 (O)、小坂森中建築 (K) と、リサーチチームとしてワークショップなどご意見をいただく担当の榎原充大 (株式会社都市機能計画室、S)、4社合わせて通称「NOKS」が、長野県教育委員会のパートナーとして、関係するさまざまな方々のご意見をうかがいながら、新校の設計を進めていきます。次にそのNOKSの設計チームから、新しい学びの場を考えるためのヒントになる考え方やシーンについて話題提供しました。今回はシンポジウム形式で開催しましたが、参加者がお手持ちの端末を使ってリアルタイムで質問ができる「Live! アンケート」を利用し、一方的なレクチャーではなく対話を意識しながら進めました。



小諸高校
音楽ホール

2023
02

09

THU

17:00

19:00

●次回 / ワークショップ 2

テーマ：模型から考える
対象：教職員・生徒

2023年3月3日(金)

●お問い合わせ

【主催】長野県教育委員会

【企画運営】西澤奥山小坂森中共同企業体 + 株式会社都市機能計画室 (通称：NOKS)

【問い合わせ】e-mail : komoro.workshop@gmail.com

新校について
NOKSと一緒に考える
ワークショップは
続きます！

第1回ワークショップ・シンポジウム ご意見まとめ

230329 NOKS 作成

| 質問 | 回答 |
|---|--|
| NSDレクチャーを受けて、何か質問や感想を教えてください | |
| 1 設計者に任せておけば、良い学校ってできますか？ | 学校の現状や地域のことをよく知っているみなさんと意見をキャッチボールしながら、パートナーとして進めていくのが重要だと考えています。一緒に議論していきたいと考えています。 |
| 2 新しい学校空間興味大。執務、共創の空間具体的に言って？ | ありがとうございます。執務の空間や共創の空間をはじめ学校の空間については、教員や生徒のみなさん、関係者のみなさん、市民のみなさんとともにこれから想像しながら設計を進めていきたいと思っています。ぜひご協力ください。 |
| 3 今までの学校生活で同じような校舎だなと思っていたので、その学校独自の色がある環境で学べることは良いと思います。新しい校舎で学べる生徒が羨ましいです。 | ご意見どうもありがとうございます。ぜひ引き続きご協力お願いします。 |
| 4 ワークショップ等で意見聴取する事は良いと思いますが、実施設計後の期間で開校に間にあいますか？ | ご懸念はその通りです。厳しいスケジュールではありますが、可能な限り関係者のみなさんとともに設計を進めていきたいと思っています。 |
| 5 空間デザインについては、斬新的な提案をして欲しいと思います。地域連携も期待するところです。長野の県民性から無難な建築設計に落ち着いて欲しいと思います。 | ご意見どうもありがとうございます。励んでまいります。 |
| 6 基本計画から令和8年の校舎完成までのタイムスケジュールはどのようになっていますか？時間的にはかなりタイトなスケジュールになると思います。 | ご懸念はその通りです。長期的なスケジュール管理は重要だと考えております。校舎の引越し計画なども含めた施設整備全体の工程も、基本計画でお示しできればと考えています。 |
| 7 正直、3科合同の中に普通科のメリットは何かあるのでしょうか？商業科はPCなど、音楽科は音楽ホールなどメリットがあるので素晴らしいと思います。 | 理想的には3科融合によって、個別の科の「メリット」ではなく、全体として学びのためのよりよい機会が提供されるとよいと考えています。 |
| 8 NOKSの方へ。基本計画の策定までの時間が厳しいと思います。学校との意見交換のスケジュール等、どのようにお考えですか。 | ご指摘の通り、時間は限られておりますので、基本計画策定にあたって意見交換が必要な項目を整理しております。それぞれの項目について適切なタイミングで話し合いを深めていければと思います。 |
| 9 既存の施設を整備するとありますが、教室を綺麗にしたり、机や椅子を新しくしたり、冷暖房の設備を整えたりしますか？ | 新しい学びの空間をつくる上で、既存校舎との関係を考えてながら新しい校舎を計画することを大切にしたいと考えています。ご指摘の既存校舎の整備も含めて、できる限りの可能性を考えていきたいと思っています。 |

| 設計チームプレゼンテーションを受けて、何か質問や感想を教えてください | |
|--|--|
| 10 まさに求めていたもの！！ | ご意見どうもありがとうございます。ぜひ引き続きご協力お願いします。 |
| 11 1人で学習するスペースがあるのはいいですね | ご意見どうもありがとうございます。さまざまな学びの空間を散りばめていきたいと思っています。 |
| 12 壁だけじゃなくて、家具などのしきりでも『教室』になるんですね！『教室』って何なのか考えさせられます！ | そのような気づきを共有いただき有難いです。カリキュラムを進めていくために壁が必要になるときもあるとは思いますが、よりよい学びの空間はさまざまなかたちでつくることができると考えています。 |
| 13 少しの工夫で廊下のちょっとしたスペースも、学習や作業空間になるなど、素晴らしいですね。ただ、小諸の冬は大変寒さが厳しいので、暖房はどのように設定するのだろうか心配があります。全館暖房が理想ですが... | 冬の厳しさは我々が想像する以上のものがあると思っております。そうしたことをしっかり認識し、例えば部分的に仕切られるようにしたりなど、暖房効率等にも配慮しながら、設計を進めていきたいと思っています。 |
| 14 学校のなかでお気に入りの空間・場所を見つけるの、おもしろそう。 | ご意見ありがとうございます。そんなふう新しい学内で過ごしてもらえると光栄です。 |
| 15 教室の概念が覆りますね！ | ご意見ありがとうございます。 |
| 16 いままでの概念をほぐす、あるいはとらわれない、良い方法・仕掛けて何かありますか？ | 例えば家具や建具など生徒や先生が簡単に動かせるものをたくさん用意したり、またそれらが出し入れしやすい場所を適切につくっていくことで、今回示したような多様な学びのあり方を支えるような環境づくりをご提案していきたいと思っています。 |
| 17 「楽器の練習をしている空間で他の作業をしている人がいる場面」について、心地良い音でミスなく練習している素敵なBGMですが、そうならないことが多いです。発展途上の生徒達なので、大きな気持ちで聴いていただきたいですが、実際ご近所からの苦情をいただく事もあります。現実には厳しいものです。 | ご意見ありがとうございます。理想だけではない実情を教えてくださいただけのはわれわれにとつての学びになります。 |
| 18 一人で学ぶ、複数で学ぶ、別々のものを学ぶのは確かに大事だと思いますが、高校とは決められた空間で色んな人がいてより多くの人と関わるのが定義だと思う。一人で学ぶのはずっと一人になってしまう。複数で学ぶのはいつもと同じ人。別々ものは共感が難しい。など、様々な場所があるゆえに本来の高校で学ぶことが少なくなってしまう気がする。 | 「本来の高校で学ぶこと」という点、ICTなど急速に学びのかたちもかわるなかで、我々もぜひ学校関係者の皆さん、また地域の皆さんと一緒に考えていきたい重要なところと考えておりました。一日、一週間、一ヶ月など、時間軸のなかでさまざまに学びのかたちを選び取ることができるようになりたいと思います。 |
| 19 ご説明を頂いたことで、プロポーザル案の理解が深まりました。先行事例やそこから生まれる全く新しいアイデアで、今までにない校舎を期待すると同時に、フレキシブル空間ありきで実際ご試みてみるとう学校生活に即していなかったということのないようにしたいと感じました。 | ご指摘の点、我々も過去に学校設計に携わる中でフレキシビリティのあり方について課題を抱える事例などを少なからず見てきております。今回は既存校舎も活かしながらの計画といふこともあり、現状の使われ方を詳細にヒアリングしていきたいながら小諸新校にふさわしいフレキシビリティのあり方を考えていきたいと思っています。 |
| 20 人の流動性が、空間で確保されているのがとても素敵だと思います。 | ご意見ありがとうございます。そのような空間を生み出していきたいと思っています。 |
| 21 オープンスペースの学校は当時不評でした。多様な学び、空間のコントロールなど視野に入っていなかったと振り返ります。学びの主体を尊重する意識改革が学校づくりからはじまる。ワクワクします。 | 励みになるご意見をありがとうございます。よりよいプロセスで進められるよう励んでいきます。 |
| 22 皆さんの提案は素晴らしいと思います。ただ、既存校舎棟や教室・職員室など、学校側と動線を含め、できるだけ早く話し合いを深めるべきと思うが、どのようなスケジュールを考えていますか。 | ご指摘の通り、検討する項目がたくさんありますので、検討項目の優先順位付けスケジュールを作成しています。それぞれの項目について適切なタイミングで話し合いを深めていければと思います。 |
| 23 学習とか、授業っていうと、机に向かって先生の話静静地に聞きながら、黙々と手を動かして、鉛筆を走らせる...という認識です。けれど、その認識を良い意味で壊していくのは素晴らしいと思います。勉強の意欲が向上して、捗りそう。 | ご意見ありがとうございます。新しい校舎で目指すべき学びのかたちについてもしっかりと議論していけたら幸いです。 |
| 24 ピロティや階段など開放的な空間を感じる反面、冬の厳しい寒さや風のことを考えると... 小諸市の自然環境や気候なども考慮して学びの場ができるといいと思います。 | プロポーザル段階でも冬の厳しさについてご指摘頂き、ピロティのあり方については再検討を進めております。地域の方々に開かれた学校としてのあり方や、教室という単位ではできない学びの活動を支える場所としてのあり方は残しつつ、小諸ならではの学びの空間となるように検討したいと思っています。 |
| 25 暖房の問題は本当に深刻だと思います。今年の冬の大寒波でストーブをガンガン焚いていたが、途中で灯油が切れてしまって、寒いなかで授業を受けたことが何度かあったので。ご検討よろしくをお願いします。 | それは想像を絶する厳しさだったでしょうね。実情を教えてくださいただけありがとうございます。 |
| 26 多くの人が自由に使える小さな規模の空間を沢山うまく使える設計、とても考えてくださっていると思います。難しいですが、これからの学びに対して、身が引き締まる思いです。学校には生徒が一斉に動く行事があったり、大会での施設の貸し出し等があります。体育の授業、クラスマッチ、文化祭、大会の会場等を確保する絶対的に広い空間はどうお考えですか？NOKSの方だけでなく、NSD石井さんとも東信全体のことを考えるといかがですか？ | ご指摘の通り、イベントなどのタイミングで広い空間が必要になることも想定されますね。小諸新校の敷地は限られており、いかに広い空間を見出ししていくのかという課題はあるので、今後も話し合いが必要だと考えます。学校の敷地だけでなく、周辺施設との連携によって解決することもできるかと思っています。 |
| 27 7学級に対する体育の授業を行うこと、全校で集会や行事を行うこと、東信地区の中心に位置することで高体連の大会場所に使用されることなどから大体育館が必須だと考えます。 | ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。 |